

展望 2024



NIPPO

吉川 芳和社長

原油高に起因する原材料価格の高騰の影響が続いているが、当社においては、顧客の理解を得ながら対応ができていくと考える。サービスの向上に努め、顧客と真摯（しん

道路舗装

CO₂排出削減に注力

し)に向き合いながら取り組みを継続していく。業務の効率化や有給休暇の取得促進といった働き方改革の取り組みが着実に浸透してきた。4月からの時間外労働時間の上限規制に合わせた準備を進め、1年前倒しで対応にめどが付いた。自社独自の取り組みを展開し、さらに進めていく。

カーボンニュートラル(CN)へ向けた取り組みでは、

合材工場の二酸化炭素(CO₂)排出量削減に向け、フォームドアスファルトを製造する装置を半数以上の工場に設置し、CO₂排出量の少ないアスファルト合材を出荷している。また、CNへ向けた取り組みを強化するため、専門部署の新設も検討している。

技術開発では、高剛性アスファルト混合物を使った上層路盤「ハイリジッドベース」

を開発し、高い耐久性が得られるため、舗装の長寿命化が期待できる。また、路面がタイヤに与える抵抗を低減し、車の燃費向上とCO₂削減を目指す「低燃費舗装」の実証実験も続けていく。

海外事業では、タイとベトナムにおいて現地舗装会社へ出資し、合材工場の運営を開始している。タイでは再生プラントを稼働し、今後も更なる投資を行う。日本のリサイクル技術を用いて、CO₂削減などに貢献していきたい。



NIPPO 吉川 芳和社長

企業価値の向上を目指す

2023年は、東京証券取引所の上場を廃止してから2年目となり、「将来の再上場を目指すために、企業価値を向上する」といった意識を持たなければならぬ年だった」と振り返る。原油価格の高騰に伴いアスファルトなどの原材料価格が値上がりしたが、国の施策や顧客から理解を得たことにより、アスファルト合材は適正な価格で販売

に取り組んでいる。「アスファルト合材の販売事業は製品の販売だけでなく、デリバリーやアフターサービスといった総合的な対応力を高めている」とし、顧客との向き合い方に重きを置く方針にぶれはない。24年は、企業価値をさらに高める。「評価や価値観を向上し、当社の取り組みや方向性を、誰にでも分かる形で伝えられるこ

時間外労働の上限規制に沿った働き方も、1年前倒しで対応しており、働きやすい業界へ向けた取り組みを着実に進める。環境に配慮した企業経営も、引き続き推進する。半数以上の合材工場では、施工温度を下げても品質や施工性を確保できる中温化アスファルト合材を出荷できるため、フォームドアスファルトを製造する装置を設置

上層路盤に用いた「ハイリジッドベース」など、環境に配慮した施工技術も広くアピールする。アスファルト舗装の高耐久化や長寿命化を図り、CO₂の削減や省人化に役立てる。路盤材に樹脂を添加して舗装の耐久性を高める技術は、実用化を目指して実証実験を進めている。「環境に対する世の中の考え方が変わり、見直されている」ことから、燃費の改善やCO₂排出量の抑制につながる「低燃費舗装」をさらに訴求する考えだ。

とが重要だ」と力を込める。担い手の確保にも力を入れる。「道路舗装の仕事の大切さを新規の入職者に説明できるかどうかが当社の責任」とし、採用枠を増やすほか、小学生を招いて現場見学会を開き、業界の理解を深める場を設けている。

し、CO₂排出量の削減に寄与している。脱炭素に役立つ新しい製品や考え方を模索し、具体的な取り組みを始める段階にあるとし、「環境に貢献する事業を展開する組織の新設を検討している」と明かす。

高剛性アスファルト混合物を海外事業にも注力する。日本のリサイクル技術や高品質なアスファルト合材の製造を東南アジアで展開できると見る。タイとベトナムでは現地舗装会社へ出資、合材工場の運営を始めた。今後さらなる投資を行い、リサイクル技術の導入によるCO₂の削減などに貢献していく。